

日本建設機械化協会

A.C.M.J.

No. 63

1955年5月号

目次

建設機械の整備, 改良時代	山本 格	1
大型建設機械の転用に関する諸問題について	市浦 繁	2
骨材生産計算図表について	矢野信太郎	7
破碎設備 (70t/h級) に対する試案	福島国夫・平峯哲郎	12
須田貝ダム工事の機械設備について (1)	北田 誠	18
国産大型ダンプトラックの実用試験成績	伊丹康夫	24
2・3の建設機械接地圧の実測結果	米倉亮三	30
水力開発工事における機械化の歴史を語る座談会		34
—— 明治末期より昭和15年頃迄 ——		
港湾工事の機械化史を語る座談会		40
東北支部便り		45
行事一覽		46
編集後記		46

◇表紙写真説明◇

神戸製鋼所製クラッシングプラント

神戸製鋼所は米国の著名機械メーカー、アリス・チャーマーズ社と技術提携し、日本で最初の大容量の碎石並びに製砂プラントを電源開発株式会社殿の御注文により北海道堰堤工事用として納入し、現在好成績にて稼働中であります。

表紙写真はその一部を示したもので、各建物内部には、碎石機械、篩別機械、製砂機械、洗滌機械等が設置され、コンベヤ及びシュートで連絡され、又必要粒度のものが引出されバッチャープラントに送られています。